

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

PAT-NO: JP405032138A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 05032138 A

**TITLE: STRUCTURE OF ARRANGEMENT OF
ELECTRICAL, FITTING BOX**

PUBN-DATE: February 9, 1993

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

KENMOTSU, TAKESHI

INT-CL (IPC): B60R011/00, B60R007/04

US-CL-CURRENT: 224/275, 224/542 , 224/929

ABSTRACT:

PURPOSE: To install electric fitting items concentrically adjacent to the driver seat, perform inspection/repair works easily, and reduce the man-hours for works.

CONSTITUTION: A computer for control of car, a diag. monitor, and other electrical fitting items are accommodated in a box 5 which is installed with the overpart opened at the floor surface between the driver seat 1 and assistant seat 2, and a console box 6 of over laid lid structure

**is mounted
over the opening removably using fasteners 7. Thereby the
electrical fitting
items can be accommodated in lump and managed
concentrically, and different
apparatus to be arranged around the driver seat be mounted
reasonably.**

COPYRIGHT: (C)1993,JPO&Japio

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-32138

(43)公開日 平成5年(1993)2月9日

(51)Int.Cl.⁵

B60R 11/00

7/04

識別記号

庁内整理番号

9144-3D

C 7149-3D

FI

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数2(全4頁)

(21)出願番号 特願平3-187894

(22)出願日 平成3年(1991)7月26日

(71)出願人 000005463

日野自動車工業株式会社

東京都日野市日野台3丁目1番地1

(72)発明者 監物健

東京都日野市日野台3丁目1番地1 日野

自動車工業株式会社内

(74)代理人 弁理士 井出 直孝 (外1名)

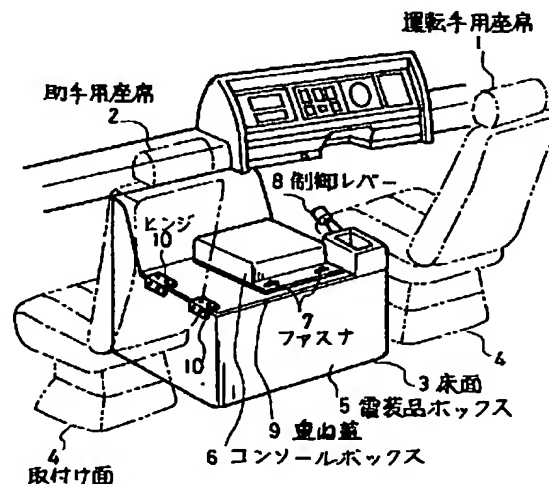
(54)【発明の名称】 電装品ボックスの配置構造

(57)【要約】

【目的】 電装品を運転席に隣接して集中配置し、点検整備作業を容易に行い、作業工数を削減できるようにする。

【構成】 自動車の制御用コンピュータ、ダイアグモニタ、およびその他の電装品を収容する電装品ボックスの配置構造において、電装品ボックスを運転席および助手席の間の床面上部開口状に取付け、その開口部に重ね蓋構造のコンソールボックスをファスナにより着脱自在に取付ける。

【効果】 電装品を一括収容し集中的に管理できることに伴って運転席のまわりに配置する各種機器を合理的に実装することができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 運転手用座席および助手用座席の間の床面が両座席の取付け面とほぼ同じ高さに形成され、その両座席の間の床面に上部開口形状の電装品ボックスが取付けられ、

その電装品ボックスの上部開口に重ね蓋構造のコンソールボックスがファスナにより着脱自在に取付けられたことを特徴とする電装品ボックスの配置構造。

【請求項2】 前記電装品ボックスはパーキングブレーキの制御レバー取付け台を兼ねる構造である請求項1記載の電装品ボックスの配置構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、自動車の運転席近傍の配置構造に関する。本発明は、電装品ボックスおよびコンソールボックスの配置構造に関する。本発明は、キャブオーバ型の自動車に実施するに適する。

【0002】ここに、電装品ボックスとはその自動車の制御用コンピュータおよびその制御用コンピュータのダイアグモニタその他電装品を収容する箱であり、コンソールボックスとは運転者が簡単な物入れとして随意に利用する収容箱である。

【0003】

【従来の技術】従来の電装品は収容スペースの関係から、運転席ダッシュボード、その裏側、エンジンルームなどに分散配置される構造が一般的であり、点検を行う場合にはどの電装品がどこに配置されているかがわかりにくいし、分散配置されている電装品の点検には大きい工数がかかる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】近年、エンジン構造が小型化され、またエンジンおよびシャシの取付け構造の改良により、図3に示すようにキャブオーバ型の自動車のエンジン位置とキャブ構造との関係が、同図(a)の構造から同図(b)の構造に変更されることがわかってきた。この構造ではキャブ内の床面がほぼ平坦に形成できるので、運転席まわりの各種機器の実装構造をさらに合理化することができる。

【0005】本発明はこのような背景になされたものであって、電装品の点検作業を容易にかつ作業工数を小さくする配置構造を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明は、運転手用座席および助手用座席の間の床面が両座席の取付け面とほぼ同じ高さに形成され、その両座席の間の床面に上部開口形状の電装品ボックスが取付けられ、その電装品ボックスの上部開口に重ね蓋構造のコンソールボックスがファスナにより着脱自在に取付けられたことを特徴とする。

【0007】前記電装品ボックスはパーキングブレーキの制御レバー取付け台を兼ねる構造であることができ

る。

【0008】

【作用】運転席および助手席の座席取付け面とほぼ同じ高さに形成され、両座席の間に設けられた床面上に、上部が開口する電装品ボックスを取付け、そのボックス内に制御用コンピュータ、その制御用コンピュータのダイアグモニタ、およびその他の電装品を配置する。さらに、電装品ボックスの上部に重ね蓋構造のコンソールボックスをファスナにより着脱自在に取付ける。

【0009】これにより、分散配置されていた電装品を運転席に隣接して集中的に配置することができ、そのために電装品の点検作業が容易となり、作業工数を削減することができるとともに、運転席のまわりに配置する各種機器を合理的に実装することができる。

【0010】

【実施例】次に、本発明実施例を図面に基づいて説明する。図1は本発明実施例の構成を示す運転席内部の斜視図、図2は本発明実施例における電装品ボックスの開口状態を示す斜視図である。

【0011】本発明実施例は、運転手用座席1および助手用座席2の間の床面3が両座席1および2の取付け面4とほぼ同じ高さに形成され、その両座席1および2の間の床面3に上部が開口形状の電装品ボックス5が取付けられ、その電装品ボックス5の上部にヒンジ10により取付けられた重ね蓋9が設けられ、この重ね蓋9にはコンソールボックス6がファスナ7により着脱自在に取付けられる。さらに、電装品ボックス5は図外のパーキングブレーキの制御レバー8の取付け台を兼ねるように構成される。

【0012】電装品ボックス5に取付けられた重ね蓋9はヒンジ10により簡単に開閉することができ、またコンソールボックス6はファスナ7を押し込んで90度まわすことによってロックを解除し取り外すことができる。ファスナ7はコンソールボックス6の内部に取付け重ね蓋9のロックおよび解除を行うようにすることもできる。

【0013】このように構成配置された電装品ボックス5の内部には、車両内部各所に分散配置されていた各種電装品、例えば図2に示すようにコンピュータ11、各種リレー12、ダイアグモニタ13、スイッチ14、フューズ類15などを集中的に収容することができ、したがって、これらの電装品に対する点検は重ね蓋9を開けるだけの操作で容易に、かつ集中的に行うことができる。

【0014】また、電装品ボックス5の上面の一部をパーキングブレーキの制御レバー8を取付ける台として利用すれば、電装品ボックス5を配置したためにその位置を変更する必要はなくなる。

【0015】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、従

来車両の各所に分散配置されていた電装品を運転席に隣接して集中的に配置することができる。これにより重ね蓋を開けるだけの操作ですべての電装品の点検および整備を容易に行うことができ、作業工数を削減できるとともに、運転席のまわりに配置する各種機器を合理的に実装することができる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明実施例の構成を示す運転席内部の斜視図。

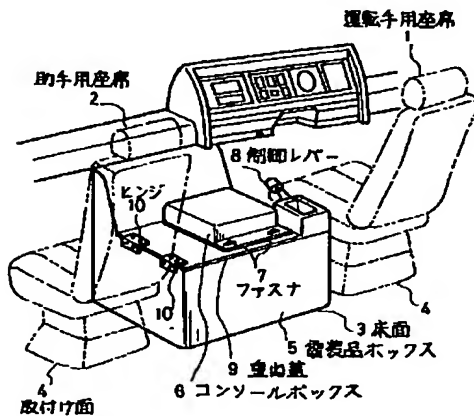
【図2】本発明実施例における電装品ボックスの開口状態を示す斜視図。

【図3】(a)は従来におけるキャブオーバ型自動車のエンジン位置とキャブ構造との関係を示す図、(b)は本発明実施例に係るキャブオーバ型自動車のエンジン位置とキャブ構造との関係を示す図。

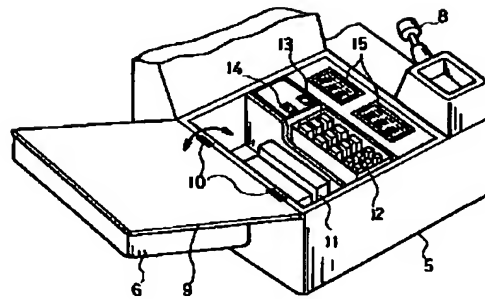
【符号の説明】

- 1 運転手用座席
- 2 助手用座席
- 3 床面
- 4 取付け面
- 5 電装品ボックス
- 6 コンソールボックス
- 7 ファスナ
- 8 制御レバー
- 9 重ね蓋
- 10 ヒンジ
- 11 コンピュータ
- 12 各種リレー
- 13 ダイアグモニタ
- 14 スイッチ
- 15 フューズ類

【図1】



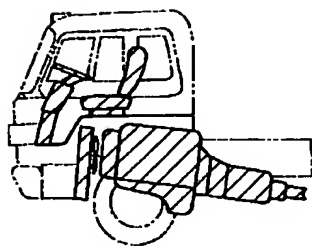
【図2】



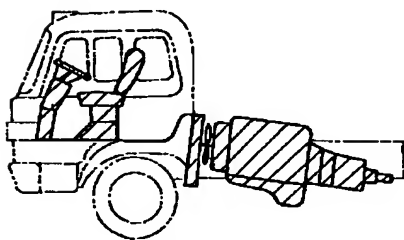
(4)

特開平5-32138

【図3】



(a)



(b)